

やさしい日本語を使ってみましょう！

外国人や子ども、高齢者など、さまざまな人にわかりやすく伝えるための日本語が「やさしい日本語」です。少し工夫するだけで、だれにとっても伝わりやすい言葉になります。

むずかしい言葉は使わない

例)「開始します」→「はじめます」



一文を短くする

長い文章は、**2つに分ける**と読みやすくなります。

例)

× 本日の受付は終了しましたので、明日お越しください。

○ 今日は受付が終わりました。明日来てください。



あいまいな言葉は使わない

例)「高齢者」→「65歳以上の人」



漢字は少なめにする

難しい漢字には
ふりがなをつけましょう。

例) 診察 (しんさつ)



箇条書きにして伝える

情報が多い場合は、箇条書きにすると分かりやすくなります。

例) 友達に旅行の計画を伝える時

旅行の計画はこんな感じだよ

- 出発日は来週の金曜日
- 行き先は北海道
- 宿泊先は札幌のホテル
- 移動手段は飛行機
- 費用の予算は1人5万円くらい



やさしい日本語は、みんなにやさしい

外国人だけでなく、子ども・高齢者・障がいのある人など、多くの人にとって読みやすい言葉になります。